



# 議会

# だより

## Topics



- 12月定例会 …………… 2～3ページ
- 一般質問 …………… 4～10ページ
- 岸田文雄衆議院議員全国行脚  
…………… 12ページ



## 岸田文雄衆議院議員 全国行脚丹波山へ

令和2年11月2日岸田文雄衆議院議員が上野原、小菅、丹波山村を視察されました。丹波山村ではg7サミット、原木まいたけの生産、アユの養殖、地域企業人等村で行っている様々な事業の説明を熱心に聞いていただきました。その後、道の駅や、鴨沢地区を視察し上野原市に向かい、約1時間でしたが村の頑張りを見て感心されていました。(詳しくは12ページ)

# 使用期限や老朽化による 機器の交換や更新が相次ぐ!

# 村 議 会

## 12月定例会 令和2年第4回

12月定例会は12月4日に開会し同日閉会しました。審議した案件は、補正予算等全7件が提出され、すべて原案のとおり可決いたしました。審議内容を要約してお伝えします。

■令和2年度丹波山村一般会計補正予算(第5回)

### 質疑応答

広瀬直照 狩猟ツアーの実施期間や具体的な内容を伺います。

総務課長 実施期間は、令和2年12月から令和3年2月までを予定しています。

内容はイベントを2回、いろいろなツアーを観光協会、狩猟関係、村の業者に委託して行いますが、その前に広報活動や、人を集めるということでコロナ対策の講習等も必要になってきますので、そうした事も含めて事業費が504万円となっています。

酒井隆幸 コミュニティ助成の事業についてですが、購入する物の内容と、どこで使うかを伺います。

住民生活課長 保之瀬地区自治会ということで、本来令和3年度にコミュニティ助成事業を応募していましたが、ここで、追加募集があり、令和3年度に出しているものを令

## 一般会計補正予算第5回の内訳

### 主な歳入

(単位：千円)

区分	補正額	主な内容
繰越金	11,659	
諸収入	7,540	誘客多角化実証事業 コミュニティ事業
計	19,199	

### 主な歳出

(単位：千円)

区分	補正額	主な内容
総務費	5,972	コミュニティ助成 2,675 ウエルネスラボ拠点化事業 1,200
民生費	4,909	国保繰出金 4,480 乾燥機購入 360
衛生費	1,500	簡易水道繰出金 1,500
商工費	5,040	誘客多角化実証事業委託 5,040
土木費	1,050	急傾斜地崩壊対策事業受益者負担金 1,050
消防費	143	AED バッテリー等 143
教育費	585	コミュニティスクール関係費 170 文化財修繕(保之瀬薬師堂) 100
計	19,199	

和2年度に替えて申請をし直しています。

備品は、折畳みテーブル、折畳みチェア、ワンタッチテント、座布団、加湿空気清浄機、40型の液晶テレビ、ノートパソコン等です。

### ■令和2年度丹波山村国民健康保険特別会計補正予算(第2回)

診療所の超音波画像診断装置及び心電計購入、歯科医療用消耗品購入の為に補正です。

### 質疑応答

広瀬直照 医療用機械のECO、心電計の買換えをなぜこの時期に一般会計から繰入れをしてまでする必要があるので伺います。

住民生活課長 超音波画像診断装置は平成14年に、心電計は平成21年に購入し現在、両方とも不具合が発生しているため、令和3年度に購入の計画をしていましたが、令和2年度の国の補助金(直営診療施

設置備費補助金)の追加交付があると県から聞き、急遽申請をしました。現在、交付決定がされておりませんが、決定がされた段階で購入をしたかと思っています。

酒井隆幸 交付決定がされたら購入するということですが、されなかつたら今年度は見送るということでしょうか。

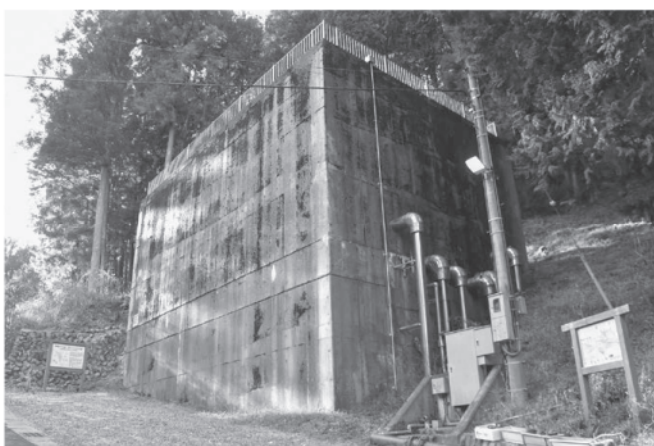
住民生活課長 今年度交付決定されないということになれ



▲診療所のエコー機器、心電図計が新しくなります



▲AEDのパッドの交換



▲小峰山流量計の更新



▲保之瀬薬師堂の屋根の補修

ば、令和3年度に改めて国庫の補助金の申請をして、令和3年度の購入になるように努力していきたいと思えます。

**酒井隆幸** 令和3年度に交付されなかった場合は、全額一般財源からの持ち出しで購入ということもあるという事ですか。

### 質疑応答

いと思っています。

#### ■令和2年度丹波山村簡易水道事業特別会計補正予算（第2回）

小峰山配水池の流量計を修繕するための補正予算です。

**酒井隆幸** 配水池流量計修繕の詳しい内容を伺います。

**住民生活課長** 小峰山配水池に400トンの水槽がありますが、そこに付いている流量

計は1時間当たり、30トン出ている等、1時間1時間データを取っています。それにより漏水しているかどうかという目安になっています。平成12年に付けたこの流量計は、本来は8年で交換をしなければいけないものが、もう既に19年も経っていて正しい数値

が出なくなっていますので、漏水調査の関係も含めてこれを修繕します。

■令和2年度丹波山村有線テレビ放送施設事業特別会計補正予算（第2回）

放送設備復旧のための補正です。

### 質疑応答

**広瀬直照** 歳入の雑入198万円の内容を伺います。

**教育次長** 木の枝の伐採時に有線テレビのケーブルを破損してしまつたので、破損した業者さんからの補填金として198万円を歳入の雑入で受けます。

**広瀬直照** 今現在テレビ視聴

に支障が出ているのか伺います。

**教育次長** ケーブルが破損して、一部地域でテレビが視聴出来なくなりましたが、緊急を要する工事だったので、復旧工事はすでに終わっています。

■令和2年度丹波山村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）

システムの改修費の補正です。

質疑応答ありません。

# 一般質問



酒井隆幸議員

## 村内のインフルエンザ

### 予防接種の現状について

**酒井隆幸** 昨年の予防接種の受診者数と今年との予防接種の受診者について伺います。

**村長** 昨年の予防接種の受診者数と今年との予防接種の受診者ですが、昨年度の予防接種数は193名で、内訳は、65歳以上が116名、一般が64名、15歳未満が13名でした。今年度は、11月25日時点で196名が接種しており、内訳は、65歳以上が151名、60歳から64歳までが30名、小学生以下は15名となっております。12月に入ってから数名の接種予定者がいます。

**酒井隆幸** インフルエンザワクチンの今年の入手状況について伺います。

**村長** 今年のインフルエンザワクチンの入手状況についてですが、厚生労働省は、2021シーズン向けのインフルエンザワクチンは約3,322万本、最大6,650万人分確保できる見込みとしています。子供に2回接種することは考慮されていないので、実際はこれより少なくなりませんが、おおむね国民の2人に1人分を製造しています。村では新型コロナウイルス感染症の流行が懸念される中でインフルエンザワクチンの需要が高まる可能性があることから、昨年実績より10名分程度余計に入手しました。

**酒井隆幸** インフルエンザワクチンはあるような流れで入手するのかわかっています。

**村長** インフルエンザワクチン供給に関する国、都道府県、市町村の役割分担ですが、市町村は、地域での対象者数や供給状況を基に都道府県に希望量を連絡します。都道府県では、各市町村からのワクチン配分希望量を踏まえて厚生労働省に配分希望量を連絡します。厚生労働省では、都道府県別ワクチン配分量について、各都道府県の人口や優先接種対象者の概数、流行状況、ワクチンの接種状況、各都道府県の配分希望量や在庫状況などの情報収集に努め、その結果に基づき都道府県別ワクチン配分量を決定します。このように、インフルエンザワクチンの供給本数は限られていることから、前年度接種数の実績とおおむね同程度の納入数に制限されています。

**酒井隆幸** 昨年のワクチンの入手数と今年のワクチンの入手数を教えてください。また、ワクチンの納入は例年いつごろなのか伺います。

**住民生活課長** 昨年度のワクチンの数ですが、210人分でした。今年度は220人分のワクチンが確保できています。入手については、10月の初め診療所におよそ220人分のワクチンの確保という連絡がありました。

**酒井隆幸** 昨年と今年の予防接種者

数は、昨年193人に対し今年度は現時点196人とほぼ同数です。新型コロナウイルスの流行もあり、65歳以上の予防接種者が昨年より35人増加して、中学生や60歳以下の村民の方々にインフルエンザ接種が出来ないような状況になっています。このような状況になると役場はある程度予想出来ていたか伺います。

**住民生活課長** コロナウイルスの感染拡大により、インフルエンザの予防接種を受ける受診者が多くなるといのは早い段階から分かっています。村でも業者により、何とか例年以上のワクチンを確保したいと要望していましたが、全国的に2人に1人分のワクチンの量ということで、どうしても村には10人分増しか来ませんでした。

10月23日時点で一般の村民分のワクチン数がないという状況になりましたので、防災無線で診療所での予約受付の終了を放送しました。その後、近隣の市町村の診療所等にも確認をしましたが、どうしても自分たちの村民、また市民、町民を優先ということで、村からこの医療機関を受診してくださいという話は今のところ出来ない状況です。

**酒井隆幸** 毎年納品しているメーカーからのワクチンの納入がメインだと思

いますが。他のメーカーにはワクチンの入手の問合せ等は行ったのか伺います。

**住民生活課長** 診療所では、二つの業者から薬品等を納入しています。ワクチンはその内一社から納入しています。もう一社の方にも問い合わせましたが、問い合わせした時点ではすでに遅く、他の医療機関のほうに配る配分が決まっているので、どうしても難しいと言われました。そのため、例年どおりの一社から、10人分のワクチンの増となりました。

**酒井隆幸** 今年のインフルエンザワクチンの予防接種の告知方法と、その方法が適切であったか伺います。

**村長** 例年全ての村民に対して予防接種の予約受付を行っておりますが、過去にワクチンが足りなくなつた年はなく、例年、数本から10本程度の余ったワクチンを返品して、これまででは予約なしでも希望者数名に接種を行っていました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の流行もあり、インフルエンザワクチンの接種に対して、厚生労働省から、65歳以上の方及び60歳から64歳の心臓、肺、腎臓に持病を有する方を最優先接種対象者とする指針が示されました。村及び診療所はこの指針に従い、

最優先対象者から予約を受け付け、接種対象者数が確定した後で、余りがあれば追加で年齢を広げていくという方針になりました。その結果、65歳以上の方の希望者全員に接種することができ、その後、60歳から64歳の持病のない方、小学生以下、保育所職員、デイサービス職員まで対象を広げることができました。

告知方法に関しては、最優先の方々からの予約受付以外に方法が見つからず、このような方法を選択いたしました。

**酒井隆幸** ワクチンが無くなり、予約は終了しましたという放送があったと思いますが、予約が終了しただけで、一般の方たちの予約はまだ受け付けるのかと考える方もいたので、早い段階で村のワクチンが無くなったなどの放送がかかれば、余裕を持って病院を探せたと思います。予約を受けている段階で、入手できたワクチン数と照合し、無くなりそうな時点で、丹波山村で出来る予防接種は終了という放送が出来なかったのでしょうか。

**住民課長** 10月23日の時点で一般の方のワクチンの数が足りないということが分かった段階で、診療所の予約受付の終了を防災無線で放送しました。しかし、その時は小学6年生以下の方の募集をしたものが予約終

了というふうを受け止めた方もいたと思います。放送の仕方が結果的に良くなかったと反省しています。

**酒井隆幸** 受験シーズンを控えている中学生たちの接種状況はどうなっているか、教育委員会は把握していますか。

**教育次長** 教育委員会では特に把握はしていません。

**酒井隆幸** 村外の方など多くの方たちと接する機会が多い役場職員の方、QOLが運営する温泉や道の駅の職員のインフルエンザ予防接種の状況は、村もしくはQOLで把握しているか伺います。

**副村長** 村とQOLも含めて、把握していません。

**酒井隆幸** 今後の予防策や対応と次年度に向けた対策について伺います。

**村長** 新型コロナウイルス感染症に有効なワクチンの供給が始まれば、来年度のインフルエンザワクチンに関しては今年度のような混乱は生じないと考えています。国では、来年度前半に新型コロナウイルス感染症に有効なワクチンを供給し、東京オリンピックを開催すると宣言してい

ますが、ワクチンの供給が遅れた場合には、今年度と同様の混乱が生じる可能性があります。しかし、インフルエンザワクチンの製造にはメーカーの方針次第というところがありますので、来年度劇的に数が増えることはないと思います。

村でも、ワクチンの確保につきまして、診療所と協力し、最大限の努力はいたしますが、今年度実績以上のワクチン数の確保は難しいと思われまます。今後、新型コロナウイルス感染症に有効なワクチンの供給が始まれば、例年程度のインフルエンザワクチン接種希望者数となると思われまますので、その場合は、年齢にかかわらず希望者全員に接種できると考えています。

**酒井隆幸** インフルエンザ予防、新型コロナウイルス感染症予防等、冬に向けて村民の方に注意していただきたい事等、担当課長に伺います。

**住民生活課長** 山梨県内は、昨日12月3日現在で、感染者数が延べ381名、入院が47人、そのうちの重症者が2名、亡くなられた方が9名となっております。

引き続き感染拡大防止のため三つの基本を守っていただきたいと思えます。  
1、人との間隔はできるだけ2メー

トルあける。

2、マスクの着用を徹底する。

3、手洗いを十分に行う。

この以上三つの基本を皆さんに守っていただき、人混みへの外出、密閉・密集・密接の三つの密を避けていただきたいと思います。

また、発熱などの症状がある場合については、かかりつけ医に電話で相談していただくか、山梨県新型コロナウイルス感染症受診相談センターに相談していただき、指示に従っていただきたいと思います。感染の拡大予防に向け、引き続き村民の皆様のご理解とご協力をお願いしたいと思います。



守屋 旭議員

守屋旭 山梨日日新聞で取り上げられたきっかけについて伺います。

村長 山梨日日新聞では、「鬼滅の刃」

## 自分や家族を守るために インフルエンザワクチンの接種を！

酒井隆幸 インフルエンザが発症してからしばらくは新型コロナウイルスとよく似たような症状で、区別することが困難だと言われています。インフルエンザと新型コロナウイルスが増えてしまうと、もしかしたら医療現場自体が崩壊するという可能性もありますので、村民の皆さんには十分注意していただきたいと思います。

また、インフルエンザによる死者のおよそ9割が65歳以上の方たちで

す。重症化しやすい高齢者の割合が約半数を占める本村では、感染を拡大させないことが重要です。

ワクチン接種には、自分自身だけでなく周りの人を守る効果もあります。自分のためだけでなく、自分の家族や大事な人を守るために、インフルエンザワクチンの接種をこの場で強く呼びかけて、一般質問を終わります。

## 新聞紙上で丹波山村が、大人気漫画「鬼滅の刃」の主人公炭治郎ゆかりの地として取り上げられたが、村の今後の対応や考え方は

の主人公、竈門炭治郎の生誕地が、山梨県、東京都、埼玉県にまたがる雲取山であるというストーリーに興味を持ち、10月下旬に丹波山村に取

材に参りました。取材に対し、主人公の炭治郎は雲取山で炭焼きをなすわいとしていましたが、村では明治初期から昭和初期まで炭焼きが主要



産業になっていた事、炭治郎が山を下り炭を売りに訪れた村の雰囲気、丹波山村の宿の雰囲気、似ている事などから、漫画の出版社である集英社に対し、「鬼滅の刃」関連企画とのコラボ企画ができないか、企画書を作りアポイントを取っていた事などを説明しました。山梨日日新聞では、その内容を持ち帰り社内検討した結果、特集を組むという結論に至ったとの事です。その後、10月28日を皮切りに、役場、道の駅及び村内で炭焼き経験のある木下勲氏への取材など、電話取材を含め10回を超える

取材を行うとともに、担当記者は雲取山に登り実体験をしたと聞いています。

**守屋旭** 集英社の協力や、今後著作権などの許可を取っていく考えがあるのか伺います。

**副村長** 著作権を村が取るとなると、非常に著作権料が高額になります。うわさでは1,000万円くらいという話も聞いていますので、村では著作権までは取るうとは考えていません。

**守屋旭** 新聞で紹介されて以降、雲取山と道の駅での観光客の実績や売

上げや来村客の反応について伺います。

**村長** 11月9日に新聞が配達されましたが、この日は全国的に新聞休刊日でした。山梨日日新聞のみが配達されました。前日は、アメリカ大統領選でバイデン氏が勝利宣言を行った事、秋篠宮様が皇位継承順位1位の地位についての事を内外に示す立皇嗣の礼が催された事、北杜市の市長選が告示された事から新聞記事への関心が高く、山梨日日新聞社からは、多くの県民の皆様が目を通し、「鬼滅の刃 炭治郎のルーツを訪ねて」の特集記事も大変大きな反響だったと聞いています。

ご質問の雲取山と道の駅での実績や反応ですが、まず雲取山への登山者ですが、この記事が出る前から炭治郎の生誕地を訪れる目的で登山する方が徐々に増えているという事は聞いておりましたが、実数までは把握できていません。

道の駅での反応ですが、11月9日の新聞発売と同時に、道の駅及び鴨沢にのぼり旗を立てると同時に、新聞記事の展示とキーホルダー、てぬぐい、定規、鉛筆、ボールペン、マスクなどの和柄グッズの販売を開始しましたが、即日完売するものもあり、改めて人気の高さを実感しています。また、東京方面からの来村客が多い事から、展示の新聞記事を見



▲のぼり旗



▲和柄のマグカップ



▲雲取のしずく（デザイン校正中）



▲直売所でグッズの販売



▲道の駅直売所



▲のぼり旗を道の駅等に設置

て関連を知り、子供や孫のためにグッズを購入していくお客様も多いと聞いています。

**守屋旭** 雲取山の登山が徐々に増えているとの事ですが、簡単には登れる山ではないということで、これから対応していくことは何かあるのか伺います。

**総務課長** 雲取山は日帰りでも厳しいところなので、これまで登山口、鴨沢から小袖の駐車場にかけて注意書きを設置しています。しかし簡単に考えて来る人もいますので今後、

登山客の入り方次第で、新たな看板や注意書きを設置していきたいと思っています。

**守屋旭** 聖地となってくると、本当に簡単に登れるのではないかとか、どうしてもそこに行きたいから軽装で来てしまうという事もあります。雲取山というのは百名山にもなっていて、2,017メートルの

標高があり、簡単に登れる山ではありません。ここ最近遭難者が増えていきますので、注意等を警察や関係団体と協力して強化していった方が良いのではないかと思います。考え

を伺います。

**総務課長** 現在、駐在所、上野原警察署を含めて、特に土日は、旧派出所、駐車場で注意喚起を午前中から行っています。たしかに登山道は最近事故が多いのですが、登山道はそれほど悪くありません。問題は距離だと思っていますので、担当者レベルの企画では雲取山まで登るのではなく小袖地区付近を聖地化することで登山ではなく、安全を確保したいと考えています。

**守屋旭** 今後村独自のオリジナルグッズなどのコラボをしていく予定について。

**村長** 既にQOLたばやまでは、市松模様、麻の葉模様とタバスキーを合わせたペンポーチや定規、鉛筆、消しゴムなどのオリジナル文房具などを販売していて、それらの模様を使用したオリジナルマグカップも近く販売する事になっています。

また、新型コロナウイルス感染症に対応地方創生臨時交付金を活用し、備蓄及び販売用ペットボトル水を製造する事を予定していますが、採水地を雲取山の登山口である小袖地区の地下水を活用する事になっています。そのため、ペットボトル水の名称を



「雲取のしずく」とするとともに、ラベルデザインを雲取山をイメージできるものを計画しています。

**守屋旭** 雲取山が聖地となると関連して、道の駅などにも、今後、グッズ以外にも写真が撮れるとか、そういった物が置ければ、さらに来村してくれる方が増えてくれるのではないかなと思います。考えがあるのか伺います。



**副村長** 集英社に持ち込もうと思っ  
た企画書ですが、キャラクターと一  
緒に写真が撮れるキャラクターパネ  
ルを道の駅や鴨沢に設置できないか  
という企画まではあるのですが、こ  
れをそのまま使う為には、先ほど言っ  
た著作権等がなかなかクリアできて  
いない。今後、こういうことがクリア  
できるかどうか検討していきます。

**守屋旭** 村独自のオリジナルグッズ  
コラボについては、現在マグカッ  
プや水の販売はいつ頃になるのか伺  
います。

**副村長** 既に市松模様とか麻の葉模  
様を使ったペンポーチは販売してい  
ます。新たにオリジナルのマグカッ  
プを発売していて、早ければ来週に  
も発売が出来ると思います。水につ  
きましては、小袖の水の水質検査が  
終わり、水の運搬、ラベルデザイン  
をしているところです。

ラベルにつきましても、雲取山を  
イメージし「雲取のしずく」という  
名称にして、実際にアニメの文字を  
書いた方のフォントを購入し水のイ  
メージにつなげることを考えていま  
す。早ければ1月中に入るか、遅く  
とも2月には発売を開始したいと考  
えています。

**守屋旭** 水の販売は道の駅だけか、  
村全体で販売できるようにするの  
か伺います。

**副村長** ペットボトル水なので、備  
蓄の分は備蓄の分で確保しますけれ  
ども、村内の民宿、旅館、キャンプ場、  
それから商店、そこには原価に近い  
金額で卸して販売していただき、あ  
とは道の駅の自販機、温泉で販売を  
したいと考えています。

また、全国で販売出来るようJ A  
Nコードを取得している最中で、そ  
れが入れば全国どこでも売れるよう  
になります。もし希望があればどこ

でも買えるような、体制をとって  
きたいと思っています。

**守屋旭** この記事をきっかけとした  
今後の丹波山村と雲取山のPRにつ  
いてどう考えていのか伺います。

**村長** 村とQOLたばやまでは今年  
2月頃からコラボレーション企画を  
検討し、村内の各所に撮影スポット  
としてキャラクターのパネルを設置  
したり、炭治郎の正規のレプリカ建  
設や、奥多摩駅からのバスの車体に  
ラッピングすることも企画していま  
したが、著作権料や集英社へのアポイ

ントがネックとなり、その後の動き  
が無いままとなりました。ここに来  
て公開された劇場版のアニメが空前  
のヒットになってきていることから、村  
及びQOLたばやまでもコラボ商品を  
企画開発し、販売するとともに、ペッ  
トボトル水などの新商品の開発も検  
討し、このブームを活用した観光施  
策を展開していく必要があると考え  
ています。

第5次総合計画の基本計画第3節  
「観光の振興」では、新たな観光産業  
の創出として、新しい観光資源の創  
出の施策があることから、このブー  
ムを好機と捉え、今後、村と雲取山



▲「雲取のしずく」は小袖の水源から水を採取



▲登山道の看板

を同時にPRできるような企画を検討していきます。

**守屋旭** 今後の丹波山村と雲取山のPRについて奥多摩との協力体制は考えているのか伺います。

**総務課長** 奥多摩町とも担当者レベルで情報交換をして、一緒に出来ればやっていく考えを持っています。

**守屋旭** 今後のPRについてですが、雑誌や新聞以外に村民の方や来村者にSNSを使っていただいて、丹波山村をアピールしていただければ、より発信が出来ると思いますが、そうした考えがあるのか伺います。

**総務課長** 新聞に載って雲取山、丹波山村を多くの方が知っていただきました。雲取山に登る登山口である鴨沢地区のPRを見直しながら、西東京バスのアナウンス等考え、まず「雲取山の登山口のメインは丹波山村です」というのを確立しながら、SNS等で一生懸命情報発信していく考えです。

**副村長** 著作権や著作権だとか申し上げていますが、実際にそれが必要なのか、必要ではないか答えも出ていません。民間が販売目的で作るため



▲雲取山の登山口として鴨沢をPR

の著作権なのか、自治体が、例えば奥多摩といろいろ企画を協力し合って、このアニメをバスにラッピングしてPRをして行く趣旨の中で、本当に著作権が必要なのか、問い合わせたいと思っています。今まで山梨県の大きな観光会社を通してアポを取っていましたが、出来れば新聞社にも協力を願えないか、確認したいと思えます。

## 議会運営委員会



▲議会運営委員会の資料も電子化されました。



▲タブレットPCにより議事が進められます。

令和2年11月25日水曜日、丹波山村役場村長室において議会運営委員会が開催されました。内容は12月定例議会の議案説明と以前から進めていた議会の電子化の第1歩としてタブレットPCにて議事進行を行う事が決まりました。

今回は紙の資料と併用で行い、時期を見て紙の資料を廃止していきます。



# 議会電子化スタート!

丹波山村議会では昨年度より研究課題としていた議会の電子化をスタートさせました。

準備を進めていましたが、8月臨時議会で議決されたコロナ対策臨時交付金を使い11月5日に業者選定、12月3日にソフトウェアの講習を受け12月議会にスタートする急発信ではありませんが、12月定例議会や議会運営委員会では出席者全員がタブレットPC（iPad）を使用して議案を読み、概ね順調に議事の進行が出来たと思います。



▶業者選定説明会（リモート）



▶業者選定説明会



▶ソフト操作研修

今後はコロナ感染防止の為にリモートによる遠隔での委員会の開催や、議員同士の打合せ等も出来るようになり、議員間の情報共有、資料の検索や保管等活動に大きく役立ち、執行部側においても年間約2万枚の紙の節約や議員同様にリモート会議に活用できる等業務の改善に大きく役立つと思われます。

## 自治功労者表彰式 及び 町村議会議員研修会

令和2年10月9日山梨県自治会館の講堂にて自治功労者表彰式及び町村議会議員研修会が開催されました。

コロナ対策として入場者制限等あり全員では参加できませんでしたが、研修では「町村議会をめぐる最近の動向について」と題し山梨県出身の全国町村会議長会事務総長望月達史氏による選挙制度の改正を中心とした研修会が行われました。



▲事務総長講演

# 岸田文雄衆議院議員 全国行脚 (第1回)



岸田文雄衆議院議員



▲丹波山倶楽部のまいたけ栽培説明

河原では議員全員と台風災害の話や、短い時間でしたが、村の状況を説明しました。



河原で議員との交流



▲養殖あゆを食べていただきました

道の駅では副村長、野崎駅長が案内をし、特産品やオオカミ伝承で村を盛り上げていく話に興味を持たれているようでした。

また、来村客に対して気さくに話をしたり、記念写真に応じるなど来村客も旅のいい思い出になったと喜んでいました。



▲オオカミグッズの説明



道の駅視察

## 村議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は、3月3日の開会を予定しています。村議会は、どなたでも傍聴できますので、お気軽にお出かけください。

※コロナ対策の為、傍聴を制限する場合があります。

## 村議会のテレビ放映について

丹波山村CATVでは、村議会の模様を放映しています。放映日等は防災無線でお知らせいたします。

詳しくは、丹波山村議会事務局 電話 0428 (88) 0211